



わかしょう

〔学校教育目標〕

○自ら学び深く考える子ども

○美しいものに感動する子ども

○思いやりのあるやさしい子ども

○たくましく生きぬく子ども

6年生、甲府空襲展に行ってきました。

7月2日(木)山梨県立図書館で開かれている、「甲府空襲展」の見学を行いました。最初に小学校入学前に空襲を体験した方のお話を聞きました。「戦争は絶対にやってはいけない。近くのところから平和を考えてほしい。皆さんにできることはまずお友達と仲良く生活すること。これからの平和の時代はみなさんにかかっている。」と呼び掛けていま



した。戦時中の写真や使って

いた日用品など、たくさんの資料を基に学習を深めました。広島・長崎の原爆の資料も展示されており、静かにじっと眺めている様子が印象的でした。「俺、ここから離れられない。」と言って、悲惨な場面の資料を見つめていました。

6年生 甲府空襲展の見学



山梨大学教職大学院から2名の先生が来ています。

4月より、毎週木曜日を基本に、山梨大学教職大学院より2名の先生が、本校で実習を行っています。6年生に先生、2年生に先生が子供たちと一緒に学んでいます。先生は甲府市の教員として勤務し、今年度より社会科を専門に大学院で学んでいます。



主に6年生の歴史の授業を行っています。先生は大学卒業後、大学院へ進学しました。2年生では「オノマトペ」(擬音語や擬態語の総称)の教育効果を研究しています。学校の先生を目指して研究を進めています。子供たちも先生方の勤務日を待ち望んでいます。若い2名の先生方の研修が実りある学びにつながってほしいです。

子供たちの頑張る姿

1学期も残りわずかとなりました。1年生は、入学式のころと比べるととても大きな成長が見られるようになりました。

この日は、タブレットの学習を進めていました。3年生は4月から理科の

1年生 タブレットの学習



学習が始まりました。ゴムの力を使って車を動かす実験に取り組んでいました。みんな、目を輝かせて、楽しそうに授業を進めていました。

4年生・5年生は図工の学習を行っていました。図工は子供たちに人気の教科です。4年生は紙工作を、5年生は、電動の糸のこぎりを使い作品を作っていました。仕上がった作品を満足した笑顔で見せてくれました。1学期もあと少し。まとめの学習を頑張ろうね。

4年生 図工の学習



5年生 図工の学習



3年生 理科の学習



順調に進んでいる体育館工事

体育館工事の様子です。基礎工事が進み、この日はたくさんのミキサー車によるコンクリート打ちがありました。資材の入荷が難しくなっているなど、課題がありますが、安全第一で工事が進められることを願います。



教室で悪ふざけをして叱られてしまった低学年の男の子。教室に入れずにいました。少し先生と一緒にいようと誘うと、「うん。」とうなずきました。職員室にいくと、机にあるルービックキューブを見つけ、興味深そうに手に取りました。私は一面しかできないのですが、やって見せると「僕もやりたい。」と回しはじめました。6つくらいはそろっているのですがそこからは難しかったようです。でも楽しい時間を過ごせた様子が見られ教室に戻りました。しばらくしてから教室のそばを通ると、ごみ袋を持ち、「今からごみ拾いする。一緒に行こう。」と誘われました。紙切れやほこりなど廊下や1階ホールのごみ拾いをしました。保健室に行き、保健の先生からモップで床を拭いてもらいたいと依頼がありました。実際に拭いてみるとたくさんのほこりがとれました。とても満足そうでした。自分が誰かのために役に立ったと思える時間だったのではないのでしょうか。その後、児童会の取り組みの意見箱のところに連れていかれました。「ぼくこれに書いて入れた。」と意見箱を指さしました。意見箱には先ほど入れたばかりのようで、1枚しか入っておらず取り出して見せてもらうことにしました。「おべんきょうがじょうずになるには、どうすればいいの?」と書いた児童会の用紙がありました。少々児童会本部の目的とは違う意見でしたが、自分で書いて入れたんだなあと、気持ちを察することができました。お勉強を頑張りたいという気持ちはあるけれど、でもうまくいかないこともある。男の子がどのような気持ちで書いたのか想像してみました。学校生活の中で、子供たちが毎日楽しく生活できることが私たち教師の願いであり、使命です。時にはトラブルもあり、先生に叱られることもあります。教室での友だちとの関わり合いの中で、たくさんの経験を積み、一步ずつ成長して欲しいと思います。

